

これから求められる**地方公務員像**



山形市役所企画調整課 後藤好邦

～自己紹介～

- 氏名 後藤 好邦
- 出身地 山形県山形市
- 年齢 48歳(昭和47年1月26日)
- 家族構成 妻・長男・次男と4人暮らし
- 好きなもの 酒(酒づくり活動にも参加)
- 趣味 ネットワークづくり

(夢: 47都道府県に友達をつくる⇒達成)



ワーク・ライフ・バランス



ワーク×ライフ×コミュニティ
バランス

これまでのキャリア



山形市職員としてのキャリア

平成6年4月 山形市役所入庁

納税課（5年間）

滞納整理業務

高齢福祉課（3年間）

老人クラブ支援など

冬季国体室（2年間）

山形もがみ国体運営業務

企画調整課（6年間）

行政評価・業務改善業務

都市政策課（3年間）

開発許可業務

行革推進課（3年間）

行財政改革（改善活動）

企画調整課（3年間）

交通政策・仙山連携（交通）

企画調整課（1年間）

総合計画・オリパラ・移住定住等

企画調整課（1年目）

課長補佐

仕事以外のキャリア(2枚目の名刺)

やまがた夜カツ勉強会(市役所レベル)

西山形の酒を造る会(市レベル)

つながる企画委員会(村山地域レベル)

やまがたイグメン共和国(県レベル)

東北OM(東北レベル)

地域に飛び出す公務員ネットワーク(全国レベル)

市役所に入ってからからの転機(12年目)

- 2005年6月 **フォーラムKGPM**入会

関学大学院の石原教授が主宰している自治体職員の自主的な勉強会



年1~2回のセミナー(大阪)
MLによる情報交換



KGPMから感じたネットワークの大切さ

- 自分自身、自分の所属する組織の振り返りができる

井の中の蛙になっていないかチェックできる。

次回までにレベルアップしたいという向上心につながる。

- 同じ想い、意識を持つ仲間をつくることができる

想いを共有する多くの仲間を**広域的**につくることができる。

⇒モチベーションの向上



後輩にも同じ経験をして欲しい
東北にもネットワークを創りたい

東北OM発起人→運営委員



【目的】

まちづくりや地域活性化に向けた人財育成
被災地・復興支援

【メンバー構成】

自治体職員が中心となり、民間企業やNPO、大学関係者や学生などを巻き込みながら自主的に集まったネットワーク

【コンセプト】

敷居は低く、されど志は高く

誰でも気軽に参加できる雰囲気
高い志を持って活動する

【メンバー数】

1000人規模(うち8割弱が自治体職員)

【東北OMの主な活動】

定期的な**勉強会**・イベントの開催

①外部講師を招聘して開催する勉強会

⇒東北各地で**36回**開催

②メンバーの報告を中心としたミニ勉強会

ITを活用した情報発信・情報交換

①**ML・FB**を使った情報交換

②HPを使った情報発信

東北OMの活動

- ① **学び**の場の提供(勉強会)
- ② **学び合い**の場の提供(ミニ勉強会)
- ③ **交流**の場の提供(交流会・各種イベント)
- ④ IT等を活用した**情報共有**の場の提供
- ⑤ **被災地**とそれ以外の地域との**つながり**の場



英国視察がきっかけとなり
東北公益文科大学大学院

大学教員(非常勤講師)／学会理事



尚綱学院大学

地方行政実務学会 設立記念シンポジウム —人口減少社会と自治体実務—



このたび自治体職員とその経験を持つ研究者による「地方行政実務学会」を設立することになりました。これを記念してシンポジウムを開催しますので、多数ご参加ください。

○ 基調講演 (14:30 ~)

東京大学先端科学技術センター教授 牧原 出

○ パネルディスカッション (15:20 ~)

「自治体の2040年問題とAI・人材育成」

〈登壇者〉

杉本達治 福井県知事

牧原 出 (前出)

稲継裕昭 早稲田大学
政治経済学術院教授
(本学会発起人代表)

磯崎初仁 中央大学法学部教授
(モデレーター)
(本学会発起人副代表)



(司会) 西出順郎 明治大学公共政策大学院教授

○ 懇親会 (17:00 ~)

日時 : 2020年3月7日(土) 14:30 開始(14:10 開場)

会場 : 明治大学駿河台キャンパス
グローバル・フロント1階 グローバル・ホール
(懇親会は同ビル17階 グローバル・ラウンジ)

定員 : 180名(先着順)

参加費 : 無料(懇親会は5,000円頂戴します。)

[シンポジウムのお申し込み方法]

①氏名、②所属、③メールアドレス、④懇親会出席を明記の上、chihougyousei@jitsumu@gmail.com までメールにてお申し込みいただくか、QRコードのこくちーイベントページからお申し込みください。

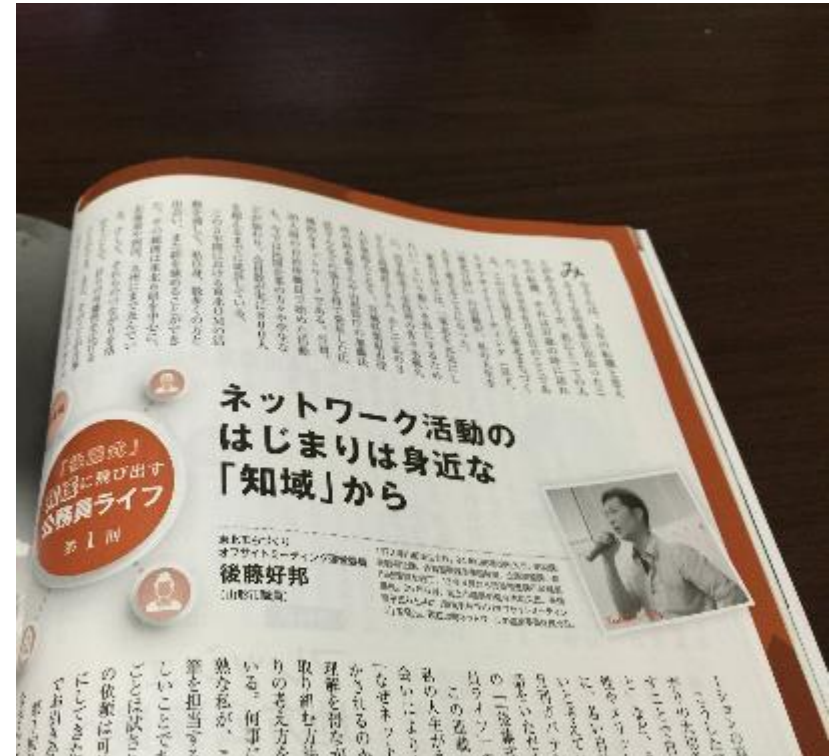


執筆活動

後藤 好邦

自治体職員をどう生きるか

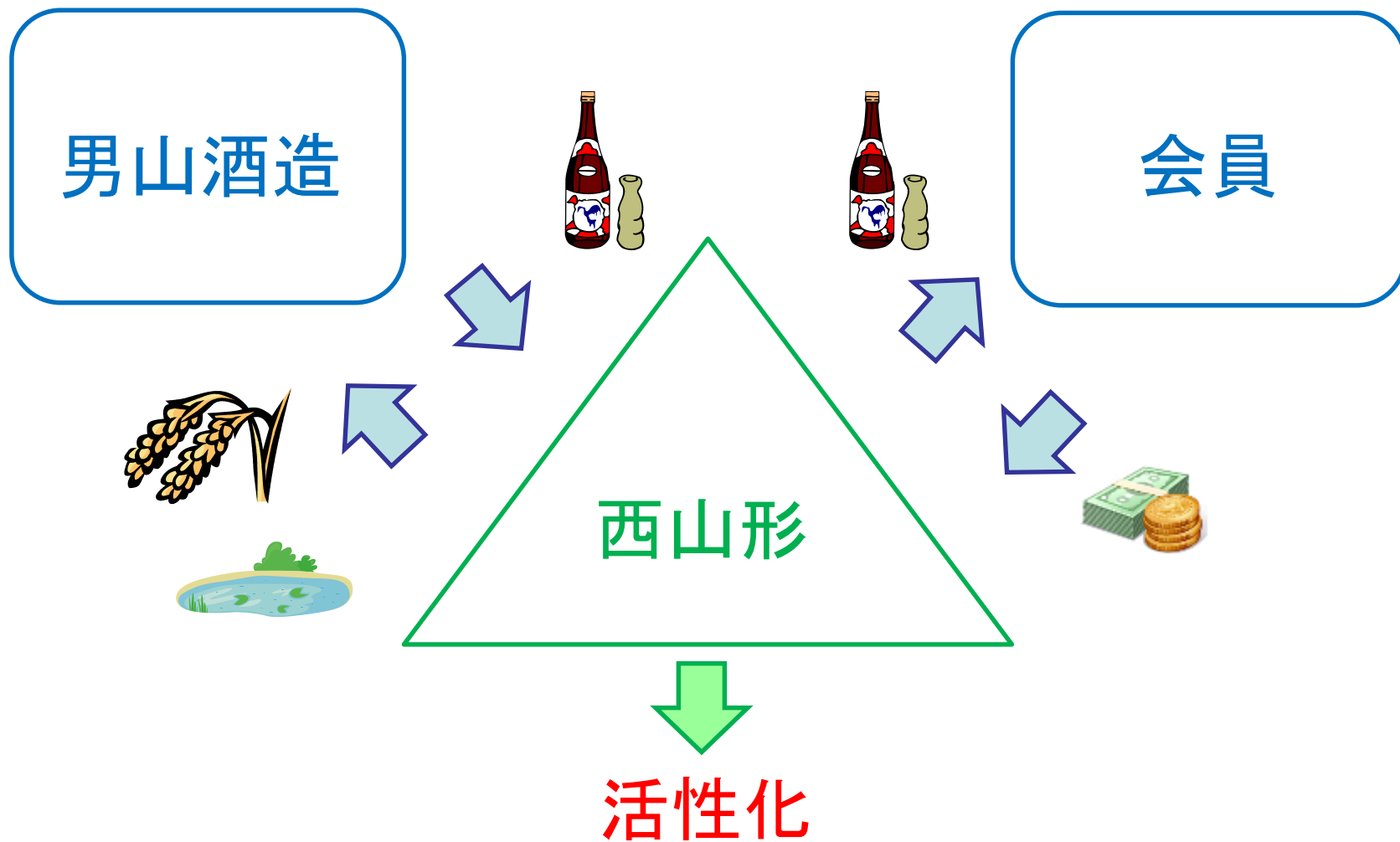
ベストセラー1位 - カテゴリ 公務員・官僚



西山形の酒を造る会



西山形の酒を造る会



「西山形の酒を造る会」との交流

- 各種行事への参加

田植え／稲刈り／新酒発表会など

- 役員会への参加

外部の立場からの意見

- 全国への情報発信

各種ML等で情報発信

1000口のうち165口の注文受付



清石会長と出会った時の言葉

休みの日にまで地域のことを考えている職員が
地元の役所にいるとは思わなかった。嬉しい!!

「西山形の酒を造る会」から学んだこと

はじめて聴いた住民の生の声



住民のパワーの凄さ

自分たちの地域を良くしようと考え、行動した時の住民のパワーの凄さを感じた。

我々自治体職員が住民の想いを知らない

自治体職員は住民の想いを知らず政策を考え行政サービスを提供している。

なぜ、ワークとライフのほかに…

コミュニティが必要なのか？



時代は何を求めているのか



ジグソーパズル

答えがある

画一性

シングルキャリア

レゴブロック

答えがない

多様性

パラレルキャリア

自治体（地域）を取り巻く厳しい状況

人口の高齢化

施設の高齢化



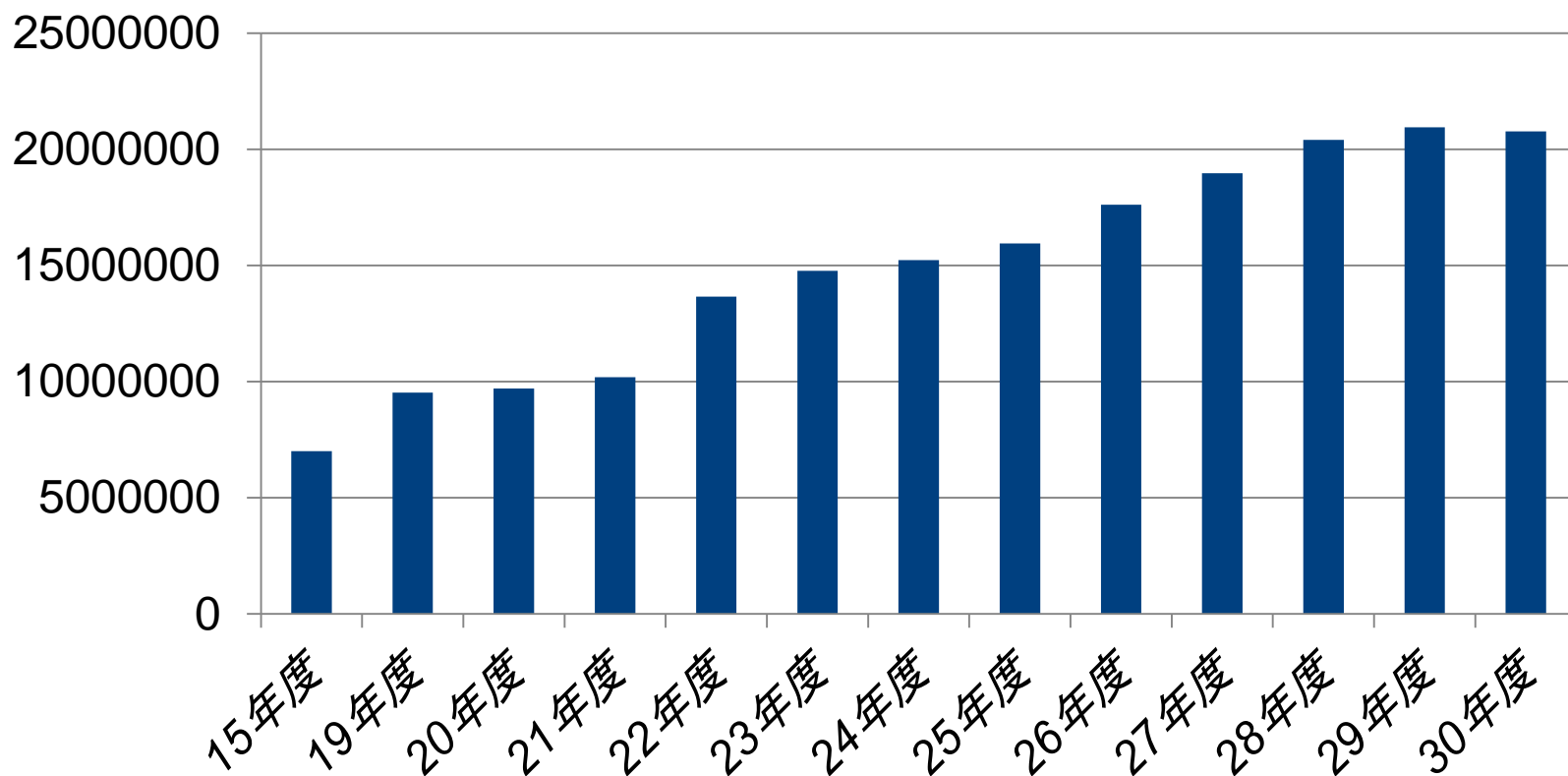
2つの
高齢化

山形市の財政状況

- 一般会計の主な歳出（扶助費）

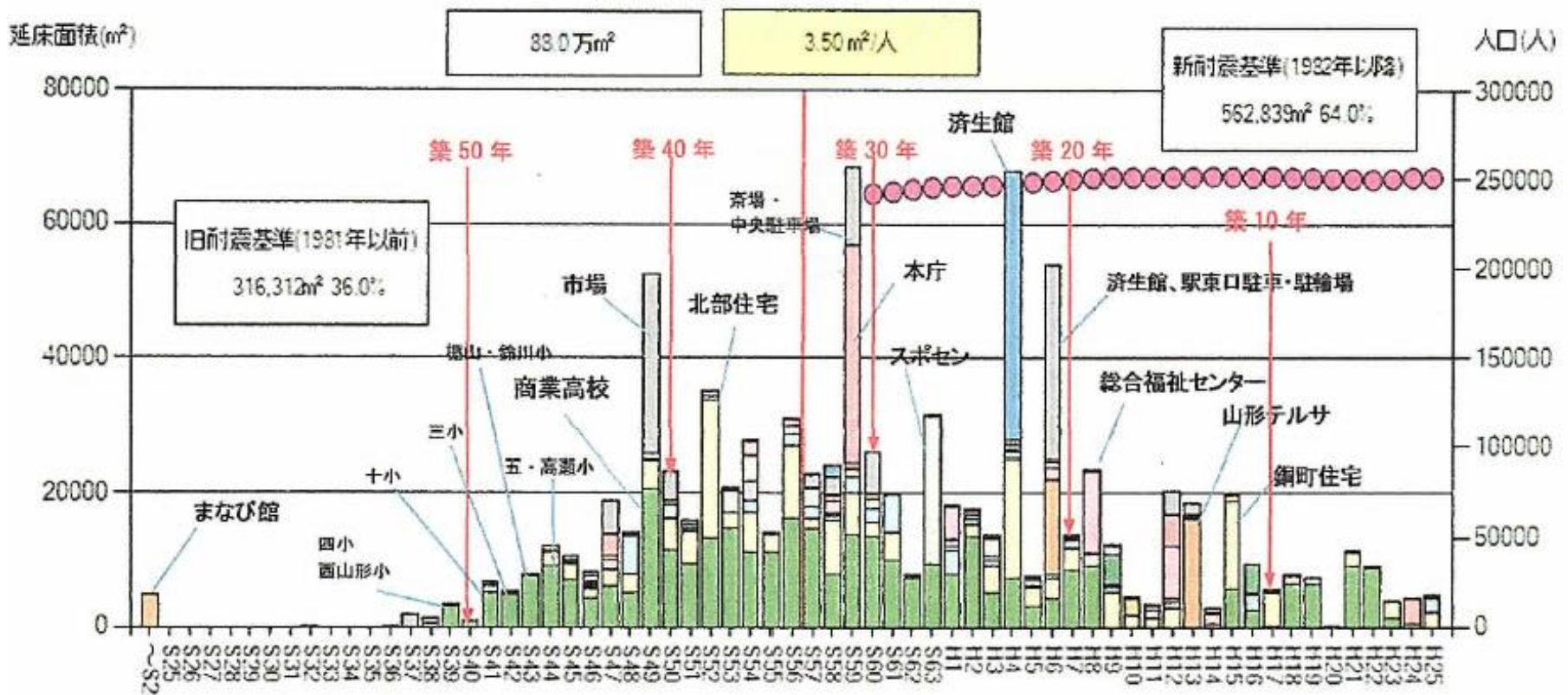
（千円）

扶助費



山形市の公共施設の 5 割以上が築30年以上

年度別整備延べ床面積（公共施設）



年平均の修繕費は200億円以上（40年間）

試算区分		40年間の 更新費用総額	1年当たり整備額 (a)	投資的経費 H21～H25 平均(b)	今後の財政負担 (a/b)
公共施設・インフラ施設		8134.1 億円	203.4 億円	110.31 億円	1.84 倍
施設別	公共施設	3798.5 億円	95.0 億円	48.87 億円	1.94 倍
	インフラ施設 (道路+橋梁+上下水道)	4335.6 億円	108.4 億円	61.45 億円	1.76 倍
会計別	普通会計 (公共施設+道路+橋梁)	4843.5 億円	121.1 億円	60.47 億円	2.00 倍
	水道会計 (上下水道施設+管)	3062.7 億円	76.6 億円	47.61 億円	1.61 倍
	病院会計	227.9 億円	5.7 億円	2.24 億円	2.54 倍

これからの行政で大切な考え方

スクラップ & ビルド



ビルド & スクラップ

新しいニーズに対応するため、優先順位をつけ
既存の事業を廃止・縮小していく

メイク○○

新しい財源や事業の仕組みを生み出していく

成長社会から成熟社会へ

人口増加 ⇒ 人口減少

税収増加 ⇒ 税収減少

画一性 ⇒ 多様性

富の分配 ⇒ 負担の分配

協働 ⇒ 総働



川北秀人さん

地域づくりの常識

行政主体

行政主導

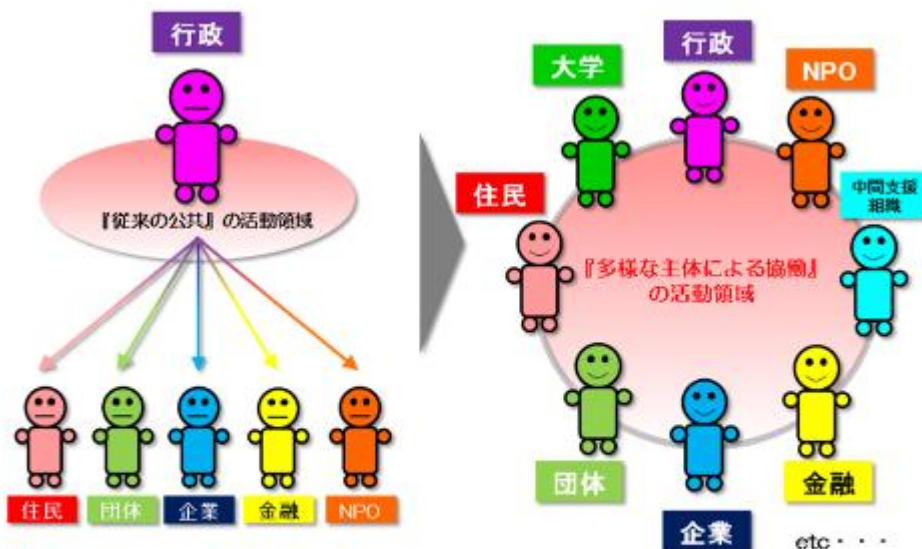
協働



住民主体

地域経営

総働



これから求められる**地方公務員**像

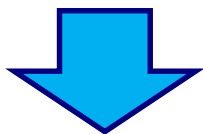
大正大学地域創生学部が掲げていた
育成する人材のイメージ



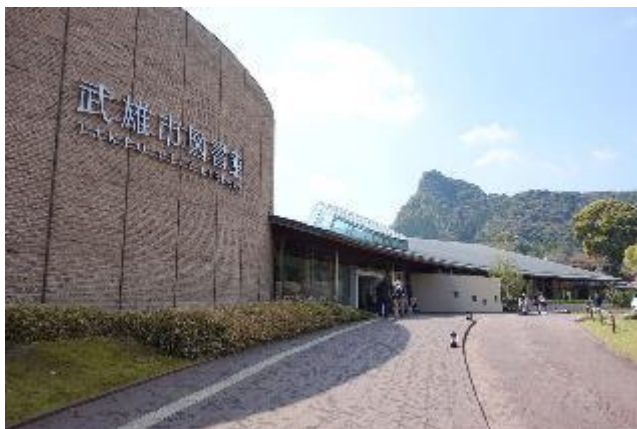
大正大学HPより

コーディネーター

新しい価値 = 既存のA × 既存のB



ヒト・セクター・モノ・コトを繋げられる人材



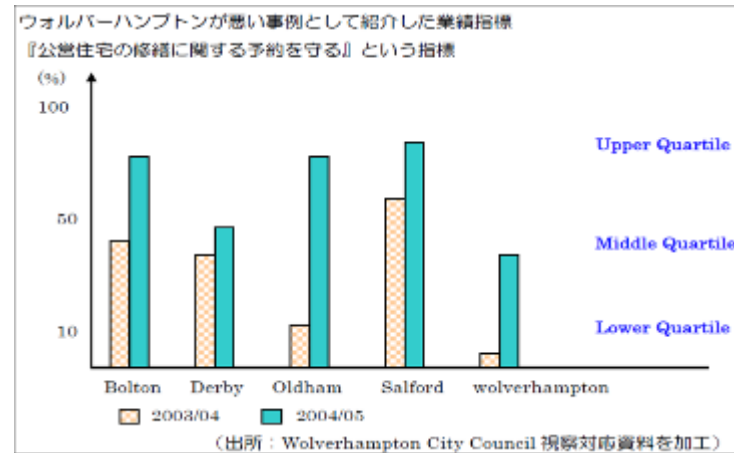
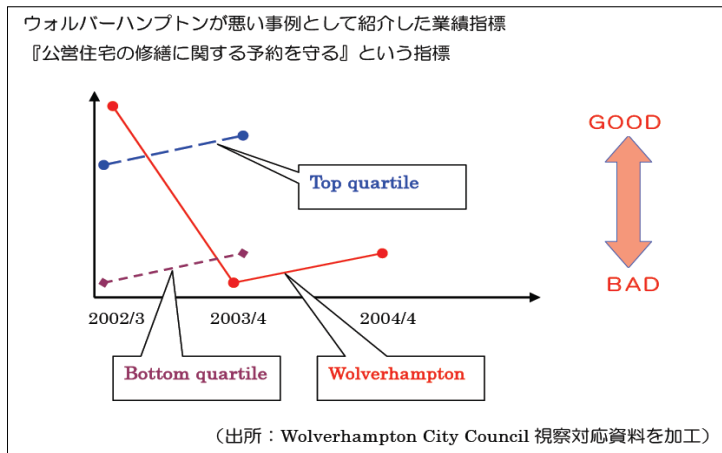
公立図書館 × TUTAYA

エコノミスト

答えがないからこそ、エビデンスが重要



最適（納得解）を見つけられる人材



アントレプレナー

事実前提 → 価値前提



既成概念にとらわれず事を起こせる人材



葉っぱビジネス
(徳島県上勝町)

オーガナイザー

総働 = 多様なセクターによるパートナーシップ



セクター同士を繋ぐ人材

民 × 官 官 × 官 民 × 民 (多様なPPP)



これから求められる**地方公務員**像

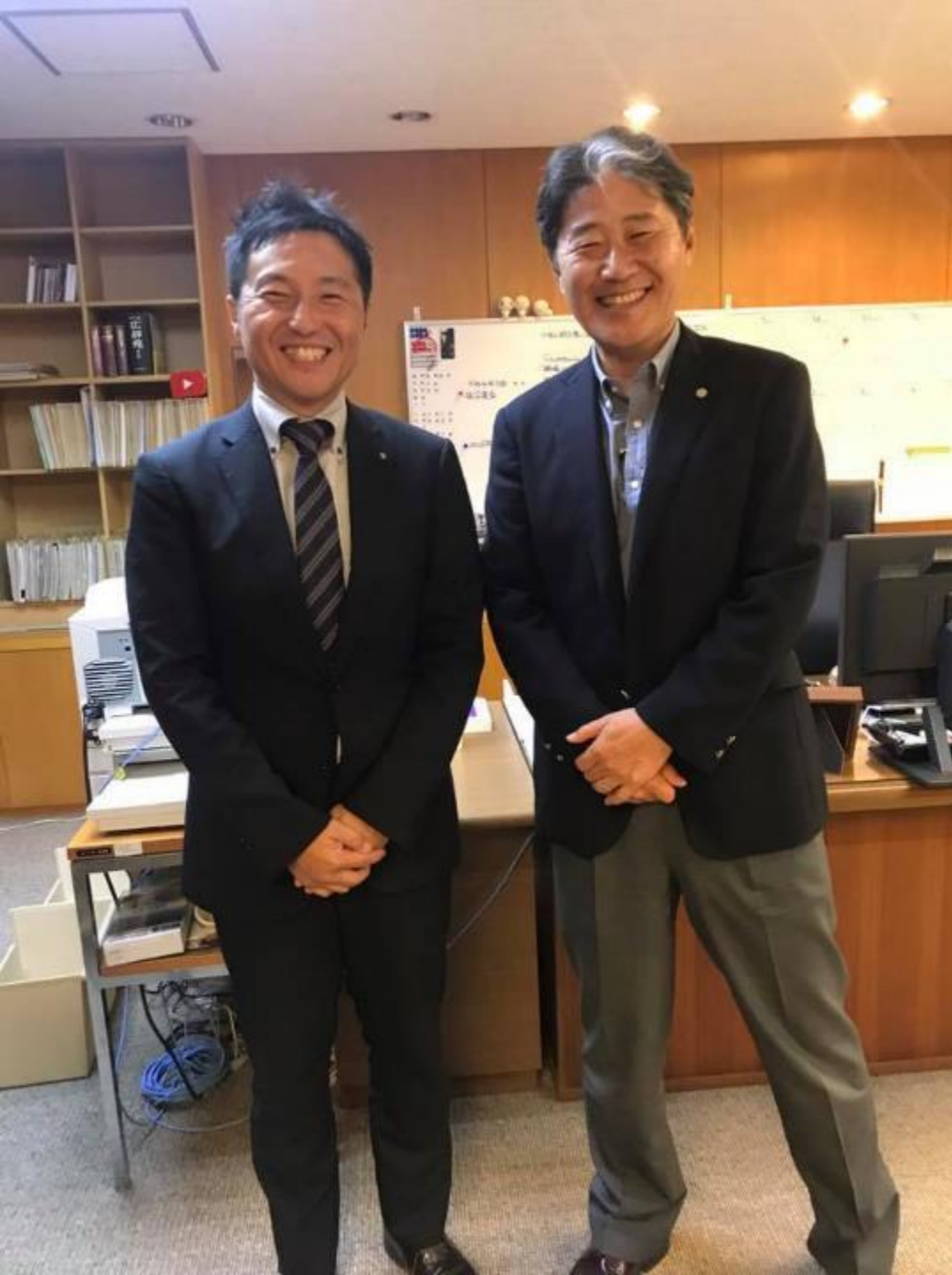
大正大学地域創生学部が掲げていた
育成する人材のイメージ



大正大学HPより

これから求められる人材に必要なスキル

主体性 と 協働性



大阪府吹田市
後藤圭二市長

愛される宇宙人

既存の考え方に縛られず、新しい発想で
チャレンジし続ける一
方で、周りの人間から
も愛され評価されてい
る人材

認められるマイノリティ

ご静聴ありがとうございました。